

日本原子力学会 第129回倫理委員会
議事録

1. 日 時：2022年1月28日（金）9:10～11:45
2. 場 所：Web会議
3. 出席者：大場委員長、福家副委員長、神谷幹事、伊藤委員、大家委員、金谷委員、佐藤委員、菅原委員、土田委員、手柴委員、中野委員、中村委員（委員13名中12名出席）
池田特別委員、中山特別委員
4. 資 料：
 - 倫 129-1 前回議事録（案）
 - 倫 129-2-1 倫理委員会活動計画
 - 倫 129-2-2 倫理委員会役割分担表
 - 倫 129-2-3 倫理規程制定20周年記念シンポについて
 - 倫 129-3 2022年春の年会セッションについて
 - 倫 129-4-1 東電核セキュリティ事案等を踏まえた倫理委員会としての検討について（案）
 - 倫 129-4-2 東電事案を踏まえた見解案
 - 倫 129-5 研究機関の安全文化関係：安全文化に係る「組織構造のモデル」の作成について

5. 議事概要：

(1) 前回議事録について

神谷幹事から資料129-1に基づき説明があり、一部誤記の修正を行ったうえで、最終版とすることとした。

(2) 活動計画および役割分担、20周年企画について

福家副委員長から資料129-2-1～129-2-3に基づき説明があり、議論を行った。主な確認事項等は以下のとおり。

<活動計画>

- ・20周年企画の学会誌連載企画の最新状況を追記した。

<役割分担>

- ・役割分担については、委員全体が関わるようにしていく。
- ・2022年秋の大会企画セッションの担当については、20周年企画シンポジウムとの関連も含めて検討することとした。

<20周年企画>

- ・学会誌連載企画の状況について説明があった。
 - ・20周年企画シンポジウムについては、別途Zoom打合せをセットして、体制、内容の具体化を図ることとした。

(3) 2022年春の年会企画セッションについて

手柴委員から資料129-3に基づき説明があり、現在の準備状況について報告があった。主な確

認事項等は以下のとおり。

- ・日程は 3/16 13:00～14:30 で決定。
- ・メインの講演者は札幌先生（早稲田大）に快諾いただき、1/7 に打ち合わせを行った。委員会からの講演は神谷幹事とした。本番前日の 3/15 に通信リハーサルを実施予定。
- ・予稿締切りは 2/9。
- ・総合討論のパネラーについては、引き続き調整することとした。

(4) 東電核セキュリティ事案等を踏まえた倫理委員会としての検討について

神谷幹事から資料 129-4-1、129-4-2 に基づき説明があり、議論を行った。確認事項、主な議論は以下のとおり。

- ・事業者としてやるべきことを実施していたうえで起きた事象と捉え、その上で事象発生経緯を丁寧に追って見解をまとめることが必要だと思う。
- ・一定レベルの安全のための組織文化が醸成されている組織において、更に改善していくことはなかなか難しいこと。
- ・内部コミュニケーションの問題があり、解決のための提案があった方がよいのではないか。
- ・協力会社との関係についても訴求した方がよいのではないか。
- ・予算配分がどうだったのかも訴求点になるのではないか。業務を的確に実施する上で、予算の措置は重要な点である。
- ・見解案である資料 129-4-2 について、コメントや気づきについて、2 週間程度を目途に幹事に連絡することとした。

(5) 研究機関の安全文化について

伊藤委員から資料 129-5 に基づき説明があり、議論を行った。主な確認事項等は以下のとおり。

- ・「組織構造のモデル」について、各委員の業務に照らして作成することとした（2 週間程度を目途）。

(6) その他

- ・大場委員長から、前回紹介のあった委員会外の先生から倫理関連の参考図書で原子力に関する不適切な記載が散見されるとの問い合わせがあった件については、急ぎの案件ではないので、別途、委員会内に共有するとの紹介があった。
- ・中野委員から、技術倫理協議会での最近の議論のトピックスについて紹介があった。

6. 次回：3 月上旬の開催として、別途調整することとした。

以上